夕刊 磐城新聞
十月四日發行
振替東京一〇八五六五番
(大正十年四月二十三日 第三種郵便物認可)
昭和十五年十月五日 (土曜日) 第五千九百四十號 (一)

佐渡巡り

月香

下

一向は阿佛坊妙宣寺内に入つて法味を捧げた。文永八年日蓮上人が塚原に捨てられて念佛行者の、順徳院に仕へ參らせた北面の武士遠藤爲盛、後の阿佛坊日得上人が、吾が聖人に教化された光景などを彷彿として眼に浮ぶ。兩津よりは一八粁ゐある。阿佛房千日尼の御像を親しく拜して、そゞろに感謝の念切なるものがあつた。

仁王門近く左の小高い處に資朝卿の墓がある。正中二年十二月に佐渡配流、本間三郎に斬られ歴史も哀である。其子阿新丸が十三歳にして都より下り、父の仇を報じたと傳へられる。此の地域、佐渡第一の五重塔が古色を帶び風致を添へて居る。

車を進めて左に眞野宮を拜し、山に入れば眞野御陵は、一叢の内に集り丘上老松の鬱蒼たるは順徳天皇の火葬塚である。承久三年北條義時の爲めに佐渡へ御遷幸あらせられ、此の絶海の孤島に廿二年の御行在都を戀はせ給ひつゝ仁治三年九月十二日、御壽四十六歳にして登遐あらせられた。明治廿二年御陵が京都大原に御治定あらせられ、御靈の京に歸らせ給ふに及び順徳天皇火葬塚と公稱せられた。

一天萬乘の大君にましまし、逆臣のため絶海の孤島に移らせられ。假の皇居に都戀はれし御歌を拜するも涙の種である。

百敷や古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり

命あれば萱の軒ばに月もみつ知らぬは人の行末の空

泉村に御幸して詠ませられし有名の御歌

鳴けばきく聞けば都の戀しさに北里すぎよ山ほとゝぎす

とバスガールの悲しき説明を聞くにつけ、胸も塞がる思ひであつた。配所に在られしの折々の御詠で

物思ふこの夕ぐれに心あらばおのへの鹿聲なきかせそ

都だに夜半の時雨にさびしきにならはぬ里のねざめをぞ思ふ

旅の空いづれさびしきまさるらんみやこの紅葉浦の月かげ

もろともにみしもゝしの夜半の月うらめしながらかたみなりけり

何れも恐懼感傷の種でないものはない。吾が日蓮聖人が順徳院に捧げられし眞は、晉に同じ流人として同じ佐渡に配所生活をされしといふのみではなく、大義名分が地に落ちた下剋上の世相に悲憤を感せられた爲めである。塚守の長藤氏は吾等一行を迎へて挨拶せられたが、氏は自から順徳院の御陵に仕へて院の悲史を著はし、その研究が縁となつて改宗し、日蓮聖人に歸依するに至つた經路を述懐して聖人の徳を頌へ、聲涙共に下るの概があつた。この一事はこの巡拜行に於ける最も印象深い一齣であつて、幾たびか感涙に咽んだものであつた。

初秋

小野磐士

A 空青く高く澄みて 清き大氣地に満ね 遙かなる地平の涯も 手にとらむばかり

B 初秋は美し 目に浮ぶもろの景色 誰か昔かさらめや

C、初秋は樂し 聖の言へるごとと 文讀みて錬る月

D、足音もかろらかに 口笛吹きて 手に握るすゝきと共に ゆるきスロープを越ゆ

E 左に見ゆる笹森の高原 しこ草も交りて 名も知れぬ赤き花よ 秋風に身をば托す

F、臍の戰友 一輪手折りて アオのたてがみぞ飾れる

G 玉の音の 虫の鳴く聲 駒の踏む足音に 消えて又鳴く

H、初秋は嬉し 木々の色 つやゝかに輝き 肢先もまろらかさ あ!みのる秋!!!

(註笹森の高原とは青森縣弘前市内の名勝)

10月5日 △平教盛延暦寺を討つ(治承三)△南北朝統一す(元中九)

◎最初の釦を掛け違へたら最後、釦は掛けられぬ ゲーテ

連續講談 異説赤穂浪士

別題「異説赤穂義士」「赤穂誠忠録」

[24] 桃川若燕 講 城木喬 畫

赤穂城

大石内藏之助は、本國の家來を城中に集めて、

「さ、各々、江戸表に於てお家の大事出來、殿は既に田村邸に於て御切腹相成り御遺骸は芝高輪萬松山泉岳寺にお納め申したとの事、斯くては天下の御法に依つて家祿沒收相成るは必定……」

と云ひつゝ一座を見渡す。とこの時に國家老大野九郎兵衛

「イヤ御城代、殿切腹仰付かつたと云へ、直に家名改易と相成るとは限りますまい、遠くは福島家の例もあり、又小身なれど青山丹後守の家も御法に依つて切腹相成りしと雖も家名は殘つたこともござる」

「イヤ其の事に就いては既に大石瀬左衛門よりの注進に依つて相判つた、此の播州赤穂に國替になつた節、先君釆女正長友公の厚き思召し、依つて拙者父大石頼母が縄張りいたしたる名城なれば、切めて御舍弟大學樣へ半地なりとも下し置かれるものか、又は御本家藝州樣より御下知もあるかと思ひ居りしに、注進の模樣を考へるにそれも望み薄く、家祿沒收の上城は明け渡すの外はない、されば我々は城を枕に戰死致すの外はない、夫れ衣を分つて我に着せ、食を分つて我に與ふ人の衣を着るものはその言に從ひ、人の食を食むものはその言に死すとはこれ淮陰侯が千古の名言である、ついては今日お貯への金子を一同の者に附し妻子を立ち退かしむるの費用に充つべきの手當、その他萬事の雜用に支拂ひたる殘りを肌付金として、充分支度したる上籠城いたす覺悟でござるが、大野氏如何思召さるゝや――」

「イヤ御城代の云はるゝところは拙者同樣でござる、萬一城受取りの同勢來らば白髮頭に兜を頂き、腕に覺えの槍を提げ、假令二萬三萬の大敵なりとも大野一人にて引受けて御覧に入れる」

「イヤそれに就いて軍用金を一同に配分致したいと思ふ、岡島支度を致せ」

城代大石藏之助の言葉に、お金奉行の岡島八十右衛門、軍用金三萬兩をお廣間へ積み上げる。

「さて大野氏、當赤穂城は公儀より賜はり城ではない、それ故當城を枕にして城受取りの同勢に一戰を交へん考へでござるが如何でござらう――」

「ウム、それもよからうが負けると決まつた戰をするのは當世ではござらんな。何か外に名案はござらんか」

「別にこれと云つてよき案もござらん、それに就いてこれにある軍用金を家臣一同に配分致したいと考へる」

「それは結構な事――」

「城を枕に討死致すと雖も家臣夫々金子の入用もござらうから一先づ頭割に配分致し、その後籠城致す者で改めて集まつてもらひたい」

「それは尤も、しかし大石氏、頭割の配分と云ふは合點が行かぬ、千石は千石、百石は百石と高下のあるものだから高割にせんければいかんな」

「イヤ御尤もな仰せなれど高割に致しては小身者が立ち行かん、御同樣大祿を頂戴いたし居る者は、不斷から覺悟もして多少の貯へもいたし居ることだから――」

「イヤ大石氏それは不可ん頭割は大不承知だ、拙者は高取二千石であるから二千石の割で配當をして貰ひたい、貴公は千五百石であるから夫れに應じて取り給へ」

「それでは小身者が困るであらう――」

「それは仕方がない、小身者は平生それだけ祿が少ないのだから」

大野九郎兵衛頑として承合をしない。

◎國民擧つて防火塗裝を!

□危險に暴露する木造家屋
□手輕るに出來る防火家屋
□太陽無機コロイド防火塗料の特長

1、太陽無機コロイド塗料は絶大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料他にありません
3、粘着力非常に強く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉 經濟的です
7、塗面が汚れた時には水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御説明下さいました

□大量使用御考慮の方及び團体的御申込みへは實驗の御希望にじます

專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店 平市仲町通り 電話二六二番
(カタログ進呈)

一般貨物運搬
時代に即應せる新陣容を以て迅速低廉に御取扱ひ致します
福好工業合資會社 代表者 強口唯七郎
自動車部 電話二八二番

ミシンと洋裁
ミシン界の王座 陸軍省御用達 商工省撰定 滿州御指定 純國産ノ權威
アサヒミシン ニツポンミシン ニツサンミシン パインミシン シンガーミシン
現金、月賦、教授 型録無代進呈
平市田町 シンガーミシン商會
◎中古高價買入

男女車掌募集 數名
年齢16……19 未經驗者ニテモ可 給料其他委細面談
平市驛前 野崎交通自動車株式會社 電三四〇・三四三

小瀧礦泉の涼味是非御出で下さい
鐵道指定旅館 割烹 小瀧 電話小名濱一〇三

稻荷丸 皇漢オルモン藥
キキメ
◎腹痛……には三粒デキキマス
◎胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキヽマス
◎小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◎心臟病……少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御實驗下さい
◎自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◎肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
定價 百十五粒―五十錢 二百七拾粒―壹圓 五百五拾粒―貳圓五十錢
本舗 イナリ丸 金子製藥所 茨城縣笠間町(稻荷神社前)
―代理店― 阿康藥局 平市古鍛冶町一〇(縣社下) 電話四十四番 振替東京三〇〇六五番 (有名藥局にあり)

外科一般
內臟外科 肛門病科 皮徽科 泌尿生殖器科(婦人科性病科) 專門
平市字鍛田町 白土醫院 電二七九
看護婦及見習看護婦募集 (入院隨意)

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

磐城の御みやげ品
名物 改め靈峰羊かん みやま羊羹(名産梨かん)
―赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產!
姉妹品 磐城耶馬溪……美山羊羹 同 七濱……のり羊羹 同 豐間……辨天羊羹
小川郷驛前 製造販賣元 平屋賣店

重田眼科
眼科專門 眼鏡檢定
平驛前 重田醫院

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正陽
平市田町(電話六一三番) 縣立女學校前
「入院のお需めに應ず」(看護婦及ビ見習看護婦募集)

齒科 口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂 磐炭病院前 鈴木醫院

內臟外科 整形外科 レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村亨
平市町南 松村醫院外科部

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三二三六

朝來好晴に張り切る

八時五分早くも空襲警報傳達

今四日目平全市の態勢

愈よ演習も中の日に入り常態ならば加速度的に白熱せねばならぬ第三日目の昨日は朝來蕭條の雨が敵機をして當方面に於ける戰意を阻んだものか、隣縣宮城上空へ飛來の情報に、何時でも來い！の張り込みを裏切つて終に機影を見せず、訓練は單に燈管第二夜の黑一色を現出したに止まつたに反し、漸く終末期に近づいた今四日は雨後の金風爽颯と一天桔梗色に霽れ上り、敵機の飛來疑ひ無しと覩て早曉來夫々待機の堅陣を張つた處八時五分果然鳴り出した梵鐘・警鐘、サイレンの各種信號とメガホン隊の活動で、斯くあるべしと豫期した訓練空襲警報は街の隅々迄遍く全市に及んで朝のうち既に昨日に變る張り切つた訓練氣分は滿幅の緊張を孕んで展開された

鐵壁陣に諦めて？

市の上空を通過

敵機飛來時一瞬の緊張

敵機よ來れ！の寸分弛み無き態勢の裡に果せるかな機影は午前九時五十分と云ふに爆音も高く一碧に澄み渡つた市上空にその姿を現したが、地上の鐵壁陣にその甲斐なしと看て取つたものか其のまゝ通過して南方の空遠く機影を沒して零時、十時十五分空襲警報は解除された。詳細不明であるが相當の高度を保つてた様である

思ふ存分働いて

今演習を終る意氣

市内の熱心家奮起

高度國防國家の護空態勢に全市を擧げて極度の張り切りを見せた今年度第三次防空訓練も各方面一致の感激的活動により愈よ明五日を最終とし同日深更十二時を以て其の終止符が打たれ六日午前零時を期して滿五日振りの平常に復歸する事となるが、從來と異り現實の敵機飛來を活動の基本とする今次の訓練は各自の創意によつて隨時隨所に適當の演習が行はれず、隨つてハヂ切れさうな元氣を抑えて待機を餘儀なくされた氣分の熱心家も少からず、之種の銃後人は訓練開始以來溜束なき演習機能を發揮出來なかつた過剩精力を僅か殘餘の明五日に於て思ふ存分の活動に出で明後日曜の安息に入る意氣込みの樣に觀測される節がある

防空訓練講評

十四日公會堂で

市では防空訓練終了後大体十四日例によつて家庭防空郡副群長以上を市公會堂に集め講評する

訓練心得

平署では演習實績に鑑み警防團、家庭防空群其他一般に對し左の注意を發した

一、空襲警報發令なきに拘らず敵機來襲したる場合は直ちにこれに對應し、待避をなすとともにこれを發見したる者はその附近に傳達し、家庭防空群をはじめ一般民をして敏速に防護体制を整へしめること

一、空襲警報發令の有無に拘らず敵機より爆撃せられたときは、直にこれに對し防護体制をなすこと

一、飛行機よりの投下彈に對しては補助現示班配置なき場所においては、警防團、自衛團、家庭防空群等は適切な活動をなすこと

骨折り後の安息

明後六日樂しまる

明五日を以て防空訓練が終ると翌くる六日が今神無月の第一日曜である。川前谿谷の楓樹尚ほ未だ色づかざるも秋晴れの解放日にはルツク負ふ大野、小川方面への茸狩り部隊や新舞子その他に一竿の風月を樂しむ天狗連などに相當賑ふをはじめ夫々の形に於て前後五日の防空訓練にしこつた肩を揉みほごすことであらう天候も今の處大丈夫と見て大した間違ひも無さそうである

車輪外れる

疾走中に　第一校生徒負傷

赤井村トラック業永山忠二方運轉手門馬男(二八)は二日午後五時トラックを運轉市內杉平地內縣道で左前車輪が外れて運轉を誤り折から通行中の平第一校高一年生酒井二郎君(一四)の背部に車体の一部を衝突要一週間の傷を負はせた

老婆はね飛ばさる

田人村旅人石工松島一郎さん母はまさん(七六)は三日午前十一時頃同村黑田地內縣道で同字綠川善美方荻光照(三〇)運轉のトラックにはねとばされて即死

磐女平商運動會

何れも十三日

磐城高女並に平商業では十三日の日曜をトし朝から何れも秋季運動會を催す

泉村に團体事務所

產業團体の一元化

泉村は產業團体の一元化をはかるため同村大字泉地內に工費三千五百圓で村農會事務所を新設すると共にセり市場、鷄舍、飼料貯藏所、價車收納所を附設今後は村農會、信組、石城養鷄組合、同畜牛組合、同價車耕作組合等が一團となつて事業の連絡をとる

秋深み行く天津より

一ケ月間の街頭所感

千葉てる子

一、

殘暑未だ殿しき今日此頃皆樣お變りもなくお過しの事とお喜び申上ます。主人御市第二小學校長拜命お世話樣になりまして御家内中私共共にこゝ滿五ケ年に亘つて無事過ごさせて頂きました事誠に〳〵感謝に堪へません、厚く〳〵御禮申上ます。其間何のお役にも立たなかつたまゝ殘り多い御市を去りまして主人任地天津へ參りましたのは去る八月九日で御座いました。途中東京、神戸、下ノ關、釜山、各一泊しながら參りまして全六十一時間乘つて天津に着きました時は十四日午後七時半頃で御座いました、道中の目に映つた種々珍らしい事は、二三のお方にお便り申上げましたから此處では省きまして街頭の所感をお知らせ申上げて見たいと存じます、餘りに古くなりますと感じが薄くなつていけませんそうで急いで餘温の冷めない中にと主人よりの注意を受けましたので一寸ペンを取つて見ました。お笑草までにお知らせ申上げます。

第一日目所感（夕方八時まで太陽があります）

天津驛に着きました時に內地の方々特に奥樣やお子樣まで出迎へて頂きました事は飛び立つ程うれしう御座居ました。人力車（チョッビーニャンチョーとは天津では申しません）がたくさん驛に居ります。梶捧の長い車で車夫の背中に單衣の袖無し腕の縫目のないやうな布を長さ二尺位ありませうかそれを肩から後と別に垂れ下げて背の方には橫に數字で縦には漢字で二一三五六番と書いてまります（赤い字で布の色は柿色又は白ですがよごれてゝ泥色してます）何萬人も居るといふ事がわかります、市內はどこまで行つても十錢と限定されてますがどうかすると增してくれとねだる事もあるとか、餘りにうるさい時はたゝくとよろしいと申しますが婦人なんか一寸恐ろしくて遂餘計に與へますと以上に又ねだるそうです。後をふり返へらずにすぐおりてずん〳〵歩いて行けばよろしいとの事です。

漸く地方各濱へ

さんま大量水揚げ

値だんも下向きか

秋刀魚漁に出航中の本縣漁船は宮城、岩手、北海道の海の猛者連を相手に過般來鰹釜港を根據に金華山北東沖で健鬪、大型漁船は初水揚げを終り本格的漁獲を目指して再出航、小型漁船も濱の幸を滿載して歸港してゐる、小名濱水試無電に入つた解禁から一日までの漁獲は安波丸(江名)の二十六萬尾を筆頭に浦安丸(小名濱)盛厚丸(江名)十五萬尾榮福丸、福日丸(江名)十二萬尾などが好況どころで愈よ近く大量の本縣入りを豫想されてゐた折柄江名町長盛丸が昨三日朝七時三百六十貫を小名濱に初水揚げした。相場は十六貫入り一箱二十五圓。なほ漁場は南方に移動極めて接近して來たので地方各濱への水揚げは漸く本格に入るものと觀られてゐる、尙ほ漁獲物は依然東京出しが續けられてゐるが、東京市場は昨年より二錢方高く一尾五錢見當で幾分品不足の傾向を見せてゐるが今日以後に於ける地方への水揚げに必然の値下りを豫想されてゐる

前五年平均に比べ

市郡下で九千石增

昨年よりは減る米收豫想

此程發表された今年度の縣下第一回米收穫豫想高は水陸稻合計二百十三萬三千十二石で之を前年の實收に較べると水稻九分九厘減、陸稻一割二分の增となり差引二十三萬二千四百七十五石の減となつて居る。之を市郡下の局部的に見るも石城十九萬二千二百九十七石は前年より一萬二千三百四石、平市の八千二十九石は之亦九十四石の減で全然縣下他方面と同一步調を辿つてゐるが右は移植當時旱天續きのため一部地方に水不足を來し不作付地や旱害地を出し尙ほその後に於ける氣象關係から來たものである。因に前五ケ年の平均收穫高に比すると石城郡は八千五百二十五石、平市は四百四十五石の增加を示してゐる

慰問袋發送

市では前線將兵への慰問袋を婦人團体の手で募集中七百八十個纏り五日發送する

小野曹長戰傷死

小名濱町出身井上部隊小野五郎曹長は八月四日江西省安義附近で戰傷死を遂げた旨原隊から發表された

住居侵入に二ケ月

植田町佐藤大工職富岡秀松(三九)にかゝる住居侵入事件公判は三日福島區裁で開廷、懲役二ケ月の判決があつた

水神社例祭

市水神社の例祭は十五日市內八幡小路淨水池傍らで執行

お祭

市內舘岡鎭座小社羽黑神社の祭典は八日執行

美味い秋刀魚飯

節米の效果は不明だがと

一愛讀者から傳授の寄書

「秋刀魚が出ると按摩が泣く」と云ふ諺がある。人間が健康になり食慾が進む十月頃から一月下旬迄漁期が續くからである。鹽燒き、味噌漬、三枚に卸して蒲燒きにする等、各地方のありふれた調査方法の外、節米になるかどうかは疑問だが！と前提して一讀者が寄せた秋刀魚飯の炊き方一つ。

方法は色々あるが魚を五分位のよつ切りにし、普通の水加減にして米一升に魚四五尾、醬油六七勺酒二三勺、鹽少量を加へ其に秋刀魚を漬げて置き噴き上つた處へ入れて炊き込み、十分に蒸して移す時混ぜ合せる、老人子供の爲に骨を拔き取り又くどい味が嫌ひなら腸を拔き去るも良いが秋刀魚は鮎と同じく腸の風味が賞美されるので燒くにも之を拔かず、飯にする場合でも最初から頭の附いた儘米の中へ林立させ、噴き上つ：水の引き加減に頭をつまんで手早く引拔くと身丈けがばつばらに殘るのを蒸らして混せ合せる方法もある。飯の味は酒鹽を主にして醬油を少量にすると炊き上りが淡白になる

スポーツの秋に躍る

四小學々級對抗競技

スポーツの秋の一行事と！て市內四小學校兒童の血をわかす四校學級對抗競技大會は今年も來る二十八日午前八時から第三小學校庭で催すことゝなり各校では過般來出場選手の詮衡其他に萬全を期し、防空訓練終了を待つて猛練習に入る態勢を整へてゐる

贈草野小名濱組合長

珠雲　小野務平

實踐躬行多令望
宜哉今日一門昌
傾將蘊蓄任商事
回得驚瀾看富郷

拈華微笑

桔梗色の空高く敵機通過地上の鐵壁陣に怯氣ついたか

□

假設の演習ですら斯う思ふ氣持は惡くない

□

按摩が泣くと云ふサンマの健康季節・喰ひ込まぬこと

□

去年よりは少いが前五年の平均よりは豐收だと、慾を云へば限りない地方の米作成績

□

骨折り後の安息はまた一入、防空が終ると六日が日曜だ

舊	九	月	四	日
土曜	辛巳	先勝	成	柳宿
新	十	月	四	日

▲一白　快く仕事のはかどる日但し飲食は注意すべし▲二黑　手近に心をなやますことあり人の誘ひは注意▲三碧　盛大なる良運日なれども浮氣は注意すべし▲四綠　投氣事業に手を出す時は根底よりくつがへさる▲五黃　動もすれば吉運となりに外れ行かんとす御注意▲六白　注意せざるときは陣容次第にみだれ大敗あり▲七赤　無理算用にむれを苦しむるより自然たのしめ▲八白　一路直前するときは闘らざるつまづきに逢べし▲九紫　周圍の事情を考へ輕擧を戒めて進めば吉日

五日【小名濱測候所觀測】

滿潮　前六、五〇　後五、五五
干潮　前〇、一〇　後―

天氣豫報（小名濱測候所觀測）

今晚　北の風晴れ
明日　同

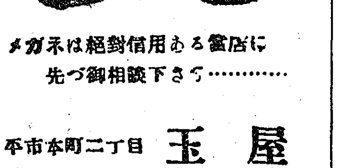
平市慶弔錄

○婚姻　四丁目阿部計三氏(四六)と宮城縣仙台市宮町一五成瀨はるさん(三二)

おでんとヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

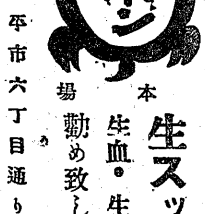
建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、建具、ベニヤ板、木羽、便利瓦、建築木材一式
織田材木商店
福島縣平市　電話平四六〇番
製材工場（大作場二五）　磐越東線赤井驛前　電話二三五番

精神病科　脊髓病科　神經病科
內務省指定
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
院長　醫學士　金森五郎
入院隨時

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

鵜沼孝昌
平市紺屋町　三六

鑑定項目
名前のみて一代の運命
何んでもわかる……
体力・肉体　疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動・職業　天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血緣・家族　男女緣（父母の緣、夫婦の緣　子供の緣）（氣質、相性、相尅、婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……


生スッポンの「生血・生膽」を御勸め致します
本場　平市六丁目通り　さかいや商店
生スッポン特約養鼈
養鼈場　平市正月町一番地
スッポン黒燒、むし燒粉末もあります

醫學士　吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番